

市議会だよりについて

- 議会だよりは非常に文字が小さくて見づらく感じる。もう少し、それぞれの委員会の審査の経過報告にグラフ等を使用するなど、委員会をアピールする部分や見て楽しくなるようなところがあると読みやすくなると思う。今まで、広報よっかいちと一緒に配付されていても議会だよりを見ていなかったのは、そういった理由もあると思う。
- 議会だよりは、議案の議決結果と賛否一覧が別々になっているので、それぞれを照合しなければいけない。議決結果はとても興味のあるところなので、改善してもらえるとありがたい。
- 議員の出身地区は、自分の地域の出身者しか分からないので、出身地区を掲載してもらえるともっと議員の方を身近に感じると思う。
- 議員の出身地区を掲載してしまうと、その地区の議員さんというイメージが定着してしまい、その地区の発展のすべてがその地区の議員さんの活躍によるものと思われてしまうと、議員間で不公平が生じる可能性もある。市の行事や活動に参加したり、関わりを多く持つようになると、自然に議員の出身等も分かってくるので、掲載までは必要ないと思う。
  - 議員）現在の構成の中では、一般質問の部分に掲載するのは難しいかもしれない。ホームページに議員の住所が載っているのでも、調べられるようにはなっているが、なかなかそこまでは見てもらえないと思う。議会だよりは、議会全体の報告をしているので議員個人の情報の掲載は難しい面もあるが、他市議会では議員の紹介記事を掲載しているところもあるので、もう少し議員の素顔が分かるような工夫があってもいいという思いも良く分かる。
- 議会の議決結果等は、市民にとって非常に重要なので、議会だよりを市民に読んでもらうことを考えなければならない。できるだけ箇条書きにしたり、文章の中でも、数字や結論の部分を太字にしたり下線を引くことで、何が言いたいのかが分かり、もっと見やすくなって市民のみなさんにも見てもらえるのではないかなと思う。下線も使いすぎると分かりづらくなるので、本当に強調したいところだけを強調すると読んでもらえるのではないかな。文章だけだと多分読まないと思う。
- 見出しをつけると読みやすくなって、下線もあまり必要ないように思う。
- 文字ばかりが続くと、せつかく良いことが書いてあっても素通りしてしまうような気がする。
- 今までは読んでないに等しいしあまり興味もなかったが、モニターになってから読むようになり、インターネットも見ようという気持ちになった。少しずつモニターの人数を増やしていくことも必要ではないかなと思った。
- みなさんのさまざまな意見を取り入れると、その分ページ数が増えて、予算も増えるのではないかなと思う。あまり見られていないのに、予算をかけてまでやる必要がないように思うが、見てもらえないと意味が無いとも思う。でも、見やすくしたとしても自分に興味があるところは読むが、関係のないところは見逃してしまうと思う。
- 議員さんは、地域のイベントに顔を出されていることが多いと思うので、その中で、あまり市民に知られていないような、隠れたイベントや郷土の踊りなどを掲載してもらえると良いと思う。

→ 議員) イベント等の掲載は、写真も撮りやすいので良いかもしれない。

○議案の議決結果のところで、否決は色を変えるべきだと思う。8月号に1件否決があったが、議案名のところも同じく違う色にすると分かりやすくなると思う。

○一般質問のところも文章が多く、文章を読むことが苦手なので、要点だけでいいと思っている。問題点と、結論があれば読んでいる人も分かりやすいと思う。

→ 議員) 例えば、各議員に3ヵ所以内でアンダーラインを引いてほしいとお願いすることができれば、今より分かりやすくなると思う。

○私も読むことが好きではないので、議会だよりに、一応目はおしているが、文章ばかりだと読む気がなくなるし、もっと簡潔に言いたいところだけを載せてもらえると見やすくなると思う。文章が多いと読む時間もかかるので、時間的に余裕がないとさらに読まなくなってしまう。もっと議員さんの活動が分かるように、分からない人でも見てすぐに分かるようにしてもらえるとありがたいと思う。

→ 議員) 現在の形式では、言いたいことが分かりづらかったり、読んでもらえていないということであれば、色使いの工夫やアンダーラインを使用するなど、一般質問の掲載方法について各議員に賛同を得やすいのではないかと思う。議員は、一生懸命質問をしているので、読んでもらわないといけない。

#### 市議会モニター制度について

○さまざまな方にモニターを経験してもらうことは大事だと思うが、委員会の運営や議会がどのように進んでいるのか分かるようになるのは、1年では分かりづらいと思う。一つの議案に対して分科会で議論を行ったあと、全体会があり、それが本会議で報告されているということが分かるまでに時間がかかる。何も分からない状態でモニターになり、やっと分かってきた時には交替となると名前だけのモニターになってしまう気がする。再選で2年までとなっているが、本気になってやるなら、もう少し時間が必要ではないかと思う。

○モニターになる前の準備がまったくなかったもので、説明はしてもらったが、普段から関心のある人と無い人でもまったく違ってくると思う。前回モニターをしていた時は、常任委員会も傍聴して、議員さんが専門的な知識をもっていることに感動した。前は、傍聴する委員会があらかじめ決まっていたような気がするが、その時も委員会の傍聴者は少なかった。再度モニターになったが、一緒に行ってくれる方がいないと傍聴に行きづらい。

→ 議員) モニター同士で仲間ができれば一番いいが、傍聴には、モニター以外のお友達を呼んできてもらっても良いのでぜひ傍聴にきてもらいたい。

○友達にモニターの話をするのと、そんな難しいことはできないと多くの方に言われるので、傍聴に誘いづらい。モニター制度とは何かと聞かれるので、開始されてから何年もたっているが、まだ、モニターが市民に浸透していないように思う。もっと浸透させていくには、一人の方が何年もやるよりたくさんの方にやってもらった方が良いのではないかと思う。

→ 議員) いきなり委員会の傍聴に来てもらっても内容がなかなか分かりづらいと思う。例えばモニターを4班程度に分けて班ごとに傍聴してもらって委員会をあらかじめ決めて、その年度に議論が活発になりそうな委員会の詳しい資料を配布し傍聴してもらおうなどの方法も考えてみても良いかもしれない。

- モニターの方には、年間である程度傍聴に来てもらう日を決めておいてお願いしておくということも良いと思う。テレビの画面で見ると、実際に見るとでは違うし、実際に見てみるとさまざまな驚きや感動があると思う。モニターの任期についても今のままで良いと思う。興味を持った方は、モニターをやめた後でも自分で傍聴に行くと思う。
- モニター制度については、あまり難しく考えずに、モニターとして各地区の情報が得られると思っている。一般に生活していると各地区の情報が入りにくいので、他の地区で起こったことに対して自分の地区ではどうなっているのかなど、自分の地区の問題と照らし合わせながら考えるようになった。
- 議員) 議会全体としては、そういった考え方も大変ありがたいが、モニターの仕事として、見せ方や改善点があればそれについての意見をいただくとありがたいと思う。
- モニターの仕事を詳しく聞いていない状態で引き受けたので、あとからこういった会議に出席して、自分の意見を述べなければならないということを聞いて、絶対にできないと思い、とても抵抗があった。人前で意見を言うことが苦手なので、絶対にできないと言ったが地区からどうしても推薦しないといけないのでというので引き受けた。
- モニターをお願いされた時は、市に対するさまざまな要望や意見があったので引き受けたが、市に対する要望を言う場ではないということがあとから分かったので、意見を出すのが難しいと感じている。
- モニター制度で一番負担となっているのは、傍聴に行かないといけないところだと思っている。なので、一般質問の質問順序は、会派ごとではなく、質問の内容で同じような質問をする議員別に日程を組んでもらえると、何回も傍聴に行かなくて良いと思った。子育てなら子育てで、テーマ別になっていると、もう少し参加しやすくなると思った。
- 議員) モニターの方が傍聴に来づらい理由として、交通面のこともあるのではないかと。交通費の支給があれば、もっと傍聴者が増えるのではないかとと思う。
- モニターの仕事は、広報の仕方や運営に関して意見を述べることであるが、実際に傍聴に行ってみると、初めに目に入るのは、本会議に欠席している議員や居眠りをしているような議員である。もっとテレビカメラの映し方を工夫して、きちんと全員が映るようになれば、居眠りする議員もいなくなるのではないかと考えた。また、議員の欠席理由も市民が分かるようにしてほしい。そういう場面を見てしまうと、議会そのものの運営がきちんとされているのか不安になる。
- 議員) テレビ放映のカメラの見せ方など工夫する余地はあると思う。
- 議員) 私は、一般質問や委員会に傍聴者がいると、気合いが入るので非常にありがたいと思っている。モニターとの意見交換会も、もっと開催回数を増やしてほしいと個人的には思っている。できれば、傍聴してもらったりテレビで見てもらったりして、定例月議会の終了後に毎回意見交換会をすることができれば、モニターの方が地元の人々に議会のことを話してもらうきっかけづくりになると考えている。

**市議会だよりについて**

○一般質問のテーマはどう決めているのか。議会だよりを見ても回答が「検討したい、研究したい」となっており結論が出ていない。民間であればいつまでに検討すると答えるのだが、議会だよりを見ている限りではその後どうなっているかさっぱりわからない。読んでいても面白くない。議員もその後フォローをしているのであろうが、私たちにはわからない。

→ 議員）一般質問に関しては、議員が自由にテーマを決めて行っている。一般質問を行う前、議会の初日に通告がされており、そこで同じような質問になるかどうかというのがわかるので、その際に他の議員が行うのであれば変えるとか、そのような微調整はあるが、基本的には同じテーマでも全く同じ質問ということではないので、ほぼそれぞれ自分のテーマで質問をしている。

→ 議員）個人的であるが、自分で納得がいかない場合、はっきりとした返事がほしい場合は、追加で一般質問を行う。すぐに行うと、まだ結論が出ていないから待つてほしいという話をもらうので、そろそろもういいのではと思う頃に一般質問をする。前回の就学援助の件は、同じ会派の前議員からの質問であるが、他市でも始めておりぜひとも四日市で、という思いがあったので質問した。一般質問で時期を見てまた質問をするというのも大事なことであるし、日頃の議員の生活の中でも、各部署に話を聞いているつもりである。

→ 議員）会派内で、自分がこのような質問をするから、違う議員が側面的に、違った角度で質問を行うという連携をとって質問をすることもある。議会だよりにわかりやすく掲載すべきだと感じている。

○いつ結論を出せるのかまで回答を求めてほしいと思う。良い質問をしているのに、答えが「検討していきたい」ではさみしい。

→ 議員）どの自治体でも、単年度会計であり継続した計画というのが難しいが、本市では総合計画を立て、第1次、第2次、第3次と中長期の計画を立てて進めることにした。それに沿って主な施策が進められており、議員が一般質問をして、そこへ割り込むこと、予算付けを行うことが難しいのが現状である。しかし、例えば私は平成19年に初めて議員になり最初の質問事項で学校給食とエアコンの質問をした。それがようやく10年目にして予算がつけられた。そういうこともあるので決して検討しますとか、まだ思案中ですとか、という回答であっても実現できないとは言いきれない、角度を変えて何回も質問することによりだんだん理解されて、政策に反映できることもある。継続性を持ち何度も何度もさまざまな形で質問することによって実現できることもあるので、応援してほしい。

○市政に投げかけるだけでなく、議員から対案を提示してもらうのが良いと考える。

→ 議員）さまざまな市民の方からの声をあげようという心掛けをして一般質問のテーマ設定をしている。しかし対案として、このような案はどうかというのは質問として少ないのではないかと思う。そこは一人一人がしっかりと質問を精査して、このような形でどうだということを示していくべきだと思うが、議員には予算を出す力が無い。例えばこういう予算を

抑えてこっちに予算を重点的に配分したらとか、財源の事も対案でこれからは言っていかなければいけないのかなと痛切に感じる。ああしたほうがいい、こうしたほうがいい、という案はたくさん出てくるが、それが本当に市民のために早急に必要なものかということ、財源が伴っているのかということを含めて質問をしなくてはならないと思う。

○政務活動費について、九州や青森に出張したとの報告書は出ているが、視察した結果が市政にうまく反映され、生かされていないような気がする。例えば広報よっかいちで市民の声として、市議会としてはこう考えていると公開してはどうか。また、月7万円の政務活動費は、県下の各市と比べて高く、会派によって使い方がばらついている。そして、支払については、同じフロアで毎日顔を合わせている事務局が、議員に、この領収書はおかしいですよと言えるだけの力があるのか。例えば第三者が監査をして払うとか。市民の税金なのでそういう認識で使っていただきたい。

→ 議員) 政務活動費の詳しい内容については市政情報センターで公開しており誰でも見る事ができるが、より透明性を表現する意味でも、議会だよりを通じて示していきたいと思う。

→ 議員) 視察にも、会派全員で行く視察や会派の何人かで行く視察、セミナーという形で研修を受けるという形もある。議員でテーマをもって勉強に行く。視察だけが政務活動費の使い道ではないが、皆さんの税金であり、とにかく無駄のないようにということは絶対に心がけていかないといけないと思っている。確かに視察報告の欄は小さいが、添付資料とすれば何十枚でも書ける。少しでも細かくても報告書に載せていくということが一つだと思うし、それを四日市の市政に対してどうやって活かしているか、ということも併せて書いていかないと考えている。

○会派により、多く使っている所と使っていない所と極端に差があるが、金をかけずにやっているのか、それとも活動が少ないということなのか。使い切るのが良いとは限らないが、どういう内訳で使っているのか。使わなかったら全額自分の懐に入るのか。

○政務活動費は、必要な経費であれば使ってもらい、その成果・結果を市政の方に反映してもらい、効果のある研修費として使っていただきたいと要望する。

○研修などは、見に行ったから直ぐにそれが何かに反映されるものではないと思う。もちろん無駄なものに使ってもらっては困るが、これに行ったからこれになりましたとかではないと思う。そういう意味での政務活動費だと理解しているし、自分達で選んだ議員を信用してやっていく、もちろん厳しく見ていく目は大事である。会派によってスタイルとか主義があると思う。

→ 議員) 後払い方式であるので、視察先での滞在費等々全てまず立て替えをし、その後口座に振り込まれている。飲食や携帯電話の電話代など、他の議会では認められているが本市では認められていない部分もあり、他の市議会よりも厳しく、先進的に取り組んでいるというのを理解していただきたいと思うし、より市民の皆さまから貴重な意見をいただいたものを反映できる体制づくり、そういうものを議会だよりを通じて発信をしていきたい。そして、市民の皆さんのわからないところを市議会だよりで説明していくのも大事なことだと思うので、政務活動費がどのように反映されているのか掲載するスペースを設けたらいいのかなと感じた。

→ 議員) 政務活動費が問題になって以降、さまざまなメディアで放送されているが、自治体によってルールや使い方が全く違い市議会と県議会でも違う。その中で本市は前払いから後払いにした、至極当たり前の話であるが、まずそういった小さいところからしっかり取り組

んでいくということが私たちは大事だと思っている。政務活動費が、どのように、何のために使われ、成果は何なのかということ、市議会だよりでわかるように発信していかなければならないかなと改めて思ったので、しっかり検討していきたいと思う。

○政務活動費について、2～3年前の報告書を見たとき、通信費が黒塗りだった、確認したら個人情報だということであったが。

→ 議員) 携帯電話代は使用しても政務活動費では支出していないので、タブレット端末のWiFiの使用料ではないかと思う。どれだけ使ったかという情報開示くらいはできると思う。

○いつも市議会だよりをぱらぱらと見て詳しく読まない。読む気が無いとわからない、わからない人にもわかるように、誰にでも分かるようにお願いしたい。字ばかりでなく、ところどころカットを入れるとか。ある程度書いて、詳しくはホームページを見てくださいというやりかたも出来ると思う。大まかなところを書いて興味のある方はネットなりで見てもらいやり方があると思う。

○フォントを大きくすることはできないのか。その分ページが増えてしまうが。思い切って省くものは省いて、文字を大きくして見やすくしてもらった方がいい。全部報告しなくてはならないと思わなくていいのではと考える、もっと違う所で報告するとか。必要なのかもしれないが、議会だよりは総花的になっている。

○宮津市議会の議決結果は良い。欠席とか、議会にちゃんと出ていることがわかる。県議会の中継をみることがあるが、居眠りをしている議員がいて腹立たしく感じる。

→ 議員) 市議会だよりは、誰にでも読んでいただきたい、難しそうだからやめようかなというものでは駄目、内容もわかりやすく説明も付けた方がいいのかなと思う。

→ 議員) 例えば定番の物は定番で記載しておいて、特集については絞って発信していくというものひとつかと思う。

○市議会アンケートであるが、議会に関心を持っていない人に答えさせても、単なるイメージで丸を付けるだけではないか。市議会を傍聴し、インターネットを見たりするなど、問題意識を持ってこれを答えたら非常にいいアンケートになるかもしれないが、市民にこれだけ出してもあまり意味がないのではないか。年代も、おそらく70代以上や60代以上が多くて、30代、20代はほとんど回答しないのではないか。一言書くような欄を作り、市政に関する意見をなんでもいいからお書きくださいとするのが良いと思う。くだらない意見も出ると思うが、貴重な意見が出ると思う。

→ 議員) 今回初めての取り組みなので、次にしっかり生かしたいと思う。

→ 議員) 次回作るときは内容を精査していく必要があると思った。ご意見をいただく大切さというのを改めて感じさせていただいた。

#### 市議会モニター制度について

○自分も高齢者であるが、モニターが高齢化していると思う。若い意見を吸い上げるという意味では不足していると思う。選挙でも、高齢者の投票率は高いが、その辺をどう考えているのか。学生を取り込んでいく方法はないのか。

→ 議員) 男性、女性だけでなく幅広い年代の方に来てもらい、議会の活動、市が何をやっているのか知ってもらうことが大切だと考える。若い世代の声がなかなか行政に届きにくい、そういう課題もあるのでご指摘の通りだと思う。方法として、モニターとして参加していただくとなると、やはり時間の問題がある。20代、30代の方は昼間働いているなかで、

議会も昼間にやっている状況がある。議会としては土日とか、夜とか、そういったことも考えていかないとならない。ただ、今できることをしっかりとやっていかないといけない。いま広報広聴委員会では、高校生に対してアンケートを取ることを検討している。遠い将来は夜の議会とかあるのかもしれないし、考えていかないとならないのかもしれないが、いま私たちとしてやれることは、考えながら進めている。

→ 議員) 若い人に出てもらうのは難しい。四日市大学の学生や、専門学校生にぜひとも出てもらい、四日市の議会がどうなっているのかという意見も聴かせてもらいたい。若い人が参加することで、違う発想が浮かんだりするなど大切だと思う。夜や土日、祭日に開催するなど若い人たちが参加しやすい、参加できる日程を考えていく必要があると私も思う。どの年代の人も平均的に声を出せるというか、声を出していただくということが四日市の街を活性化する、住みやすい街とするためには必要だと思うので、これからもどうすれば若い人たちに参加していただけるのかということを考えていきたい。

○市議会モニターの任期について。私は2年目だが、1年目は何をやったのかわからず、2年目になるとある程度興味を示す、3年目になれば堂々と意見が言えるのではないかと思うと、3年任期としてほしい、辞めるのは自由でいいのではないか。やる気があるのに3年目はモニターになれなかったという声も聞いた。幅広く意見を聴きたいということもわかるが、考えていただきたい。

○市議会モニターのやりがいは、市議会や市政に対する関心が高まったことである。やりがいのなさは、提言に対する回答が全くないので、役に立っているのか疑問に感じることである。やりづらさは特にない。改善点は、市議会モニターに意欲のある人は任期を3年に延ばしてはいいのではないかと考える。全てのモニターが残るのは無理なので、40名のうちの10%くらいまでは3年間モニターになれるというふうになることを希望したい。

○何か意見を出したいと思っているが、気後れして意見を出しそびれてしまっている。来年はもう少し聴きにこようという気持ちはある。今回のように、来る機会があると皆さんの話を聴くことができるので、勉強になるなと思った。

→ 事務局) 昨年も同じような意見を頂戴している。意見交換会でせっかく意見を言ったのになにもその後帰ってこないという意見を頂戴したので、本日配付した資料にあるように、回答できるものについては回答をお返しすることに努めている。全てに対して回答は出来ていないが、出来る限り回答に努めていきたいと思っている。

→ 議員) 出された意見に対して、まとめて活字にして残しているのですが、決して、聴いてそれだけということではないということをご理解いただきたい。

→ 議員) 市民の皆さんが関心を持っていただいている質問に対して、議会だより等で掲載してご返答をさせていただくという努力が必要だと感じた。

→ 議員) 一方通行ではなく、今回のように話し合う機会が大切だと改めて感じた。忙しいなか大変であると思うが、今回のような機会があれば率直な意見を聴かせてもらいたい。

○一般質問の内容もわかっているので、聴きに行きたいと思うが、なかなかいけない。モニターになる人は、気持ちはあると思うので、傍聴もいいことだと思った。

→ 議員) 本会議の傍聴もあるが、委員会の傍聴は筋書きがなくて面白いと思うのでぜひ来ていただきたい。また、議会報告会を定例月議会ごとにやっているのですが、ぜひ来ていただき、さまざまな角度で話が出ると思うので、よろしくお願ひしたい。

市議会だよりについて

- 市議会だよりを見ると議員の活動や市内各地の問題がよく理解できるため、満足している。
- 市議会だより8月定例会議会号と同時配布した市議会アンケートについては、初めての取り組みか。  
→ 議員）はじめての取組である。市制120周年記念として、議長の発案で行った。
- とても良い取り組みであると感じており、今後も定期的に続けていくべきと考える。ただし、選択肢を選ぶ形式の設問が多く、市民意見を正確にくみ取れるか疑問があるため、記述式の設問を増やすべきではないか。  
→ 議員）今後のアンケートの設問等については、広報広聴委員会の中で検討していきたい。
- 政務活動費について市議会だよりやホームページで公開されており、評価できる。四日市市議会は議会改革で上位に位置しているという話もあったが、積極的に公開されるようになったのは最近のことなのか。  
→ 事務局）平成20年7月から市政情報センターで公開しており、誰でも閲覧できるようになっている。ここ3、4年でホームページに掲載するようになった。  
→ 議員）全国的に政務活動費についての問題が取り上げられることがあるが、四日市市議会では政務活動費の後払い方式を採用しており、より厳格に支払われるよう改革を進めている。
- 市議会だよりをバインダーに綴じて保管している。ファイリングし、管理することで市議会だよりを読んでもらうきっかけになると思うので、市制120周年記念でバインダーを配付してはどうか。また、文字の大きさは現在の大きさが十分だと思うが、高齢者はパソコンに不慣れであるため、今後も広報紙という形で情報を提供することは重要であると考え。  
→ 議員）バインダーの配布については検討させていただく。  
→ 事務局）他自治体の事例を調査し、広報広聴委員会の中で議論させていただく。
- 費用もかかることであり、バインダーを配付することには賛成しかねる。
- 四日市市の市議会だよりは文字がびっしりと印刷されていて読みにくいのに対し、安曇野市の議会広報はイラストを載せたり、スペースに余裕があり見やすいように感じる。  
→ 事務局）安曇野市の議会広報は高く評価されている事例としてお配りしている。特に市民の声の記事として掲載する等、市民参加できるようにした点が評価されている。
- 見やすいレイアウトを考えていただきたい。  
→ 議員）貴重な意見をいただいたので、広報広聴委員会の中で検討させていただく。
- 市議会モニターになったことがきっかけで市議会だよりを読むようになったが、それまではあまり読むことがなく、目を通したとしても賛否の一覧などについては読み飛ばしていた。他市の議会広報と内容が大きく異なるものではないので、一般の市民が読みたくなるような工夫をする必要があると感じた。  
→ 議員）四日市市議会だよりは平成24年2月定例会議会号から賛否の一覧を載せるようになった。  
→ 議員）これまでは市議会だよりのレイアウトについてあまり重要という認識がなかったが、他市の事例を見ると考えが変わり、多くの市民に読んでもらえるようにしなければならないと感じる。



じた。安曇野市や宮津市の議会広報のこういった点が見やすいと感じるか。また、内容や言葉遣いなどについても忌憚のない意見をいただきたい。

○安曇野市や宮津市は行事の写真を表紙に使用している。祭などの季節感を感じる写真を表紙に使用することで興味を引くことができるのではないか。また、中身については字を大きくしたり、行間を広くすると見やすくなるのではないか。

○賛否の一覧表がわかりにくいと感じる。

○見出しの書き方を工夫し、興味を引くようにできないか。

○表紙に個人の写真を使用するのは肖像権などの問題があり、難しいのではないか。地区の広報紙でも個人の写真を使い、トラブルになったことがある。

→ 事務局) 写真を使用する場合は肖像権等に配慮している。個人の写真を使用する場合は本人の同意が必要であり、安曇野市や宮津市も同様の対応をしていると思われる。不特定多数の人が写っており、個人が特定できないように撮った写真であれば、本人の同意なしに使用することができるが、表紙にするには面白くないものになってしまう。

○定例月議会の内容だけでなく、休会中の議員の活動についても載せてはどうか。

→ 議員) 四日市市議会だよりは定例月議会や緊急議会ごとに発行している。議員個人の活動を掲載するとなると、議員の中での公平性を保つ必要があり難しい。

→ 議員) 議員個人の活動を市議会だよりに乗せるのは難しいと考えるが、議員の活動は定例月議会の期間以外にも、常任委員会ごとの所管事務調査などを行っているので、そういったこともうまく広報できるように今後検討していきたい。

○地域で開催される市政報告会は議員個人としての活動になるのか。

→ 議員) 個人的に市政報告会を行っている議員もいる。市議会としては、定例月議会終了後に常任委員会ごとに議会報告会を開催しており、8月定例月議会の議会報告会ではショッピングモールで開催した事例もある。

○市議会だよりの目的は市議会に関心を持ってもらうことだと考える。市民の興味を引くように努力してほしい。

○資源回収などの様子を見ていると、市議会だよりを見ずに捨てている人もいるように思われるため、見てもらえるよう工夫していただきたい。

→ 議員) 貴重な意見として、広報広聴委員会で検討させていただく。

#### 市議会モニター制度について

○平成 29 年 4 月から市議会モニターを始めたことがきっかけで、市議会に興味がわき、市のことがよくわかった。傍聴席には行きづらいので、テレビ中継を見ている。

→ 議員) 傍聴者数を資料で示しているが、平成 24 年度から平成 26 年度にかけては多くの傍聴者が来ていたのに対し、平成 27、28 年度は傍聴者数が減少している。これは平成 25 年から開始したインターネット議会中継、録画配信の影響で傍聴者が減少したと考えている。

○平成 24 年度から平成 26 年度に傍聴者が多いことについてはどう分析しているのか。

→ 議員) 団体に傍聴に来ることもあり、そういった影響も考えられる。

○市議会モニターとそれ以外の方の傍聴者数はそれぞれどうなっているか。

→ 事務局) 資料に記載している傍聴者数は市議会モニターのみの延べ人数となっており、平成 24

年度は全体で 601 人の傍聴があり、そのうち 161 人が市議会モニターとなっている。また、平成 25 年は全体で 510 人の傍聴があり、そのうち 138 人が市議会モニターとなっている。

○地区市民センターから依頼されて市議会モニターになったものの、市議会に関心がなく、傍聴に来ていない方もいるのではないかと。また、仕事をしていると傍聴に来ることは難しいと考える。市議会モニターとなっている四日市大学の学生の数はどうなっているか。

→ 事務局) 四日市大学にお願いして、以前は毎年 4、5 人の学生にモニターになってもらっていたが、今年度は少なく、2 名が市議会モニターになっている。

○公募によって市議会モニターになった人数を教えてください。

→ 事務局) 平成 24 年度から公募を行っており、24 年度が 6 人、25 年度が 9 人、26 年度が 8 人、27 年度が 6 人、28 年度が 5 人、29 年度が 2 人となっている。

○四日市大学の学生や公募による市議会モニターの選定では、住んでいる地区は考慮しているのか。

→ 事務局) 多数の応募があれば地区も考慮した上で選定することになるが、現在のところ応募を断る状況までにはなっていない。

○公募によって市議会モニターになった人は、市議会に興味があり、自ら応募してきた人ということか。

→ 事務局) 制度開始当初は公募を行っていなかったが、市議会モニターからの意見をもとに始めた。市議会だよりや広報よっかいち、市議会ホームページ等を通じて募集している。

→ 議員) 四日市大学の学生は県外の方も多いため、四日市大学にこだわる必要はないと考える。高校生にも選挙権が与えられたこともあり、高校生なども視野に入れて、幅広い世代に市議会モニターになってもらえるよう、働きかけていく必要があると考えるが、皆さんの意見も聞かせてほしい。

○高校生に参加してもらうことは良いのではないかと。

○他自治体では小学生が傍聴を断られたという話を耳にしたこともあるが、四日市市議会はどうか。

→ 議員) 当市議会ではそういったことはない。

○パソコン等の操作が苦手なので傍聴に行くようにしているが、高齢化に伴い車に乗れなくなると議場に行くことも難しく、テレビ中継などを活用することになると思われる。平成 27、28 年度はインターネット議会中継の影響で傍聴者が減少したということだが、インターネット中継を活用している人も多ということか。

→ 事務局) インターネット議会中継は平成 25 年から始めた。モニターの傍聴者の減少については、あくまでも推測だが、1 つにはインターネット中継が少しずつ周知され、なかなか傍聴は難しいが、インターネットで見れるのであれば、インターネット中継を見ようとする人が増えたのではないかと。

○テレビ中継の映し方について、もっと議場全体が映るようにカメラワークを工夫してもらえないか。

→ 事務局) カメラの操作は業者に委託している。同様のご意見をいただいております、議場全体を映すよう業者に指示している。

○市議会モニターとして議会運営に関する意見を求められていることは理解しているが、なかなか思いつかない。議案に対する意見はいくつか考えられるが、市議会モニターの仕事内容からずれてしまう。また、より多くの市民にモニターになっていただき、市議会を知るきっかけにしたいという考えから、モニターの任期を最長 2 年としていることは理解できるが、もっと若い世代の意

見を取り入れるため、若者にモニターになってもらえるよう努力すべきと考える。

→ 議員) ご意見は広報広聴委員会で議論させていただく。

○委員会のインターネット録画配信を自宅のパソコンで見ることができない。インターネット議会中継、録画配信の視聴方法について、研修会などを行ってはどうか。

→ 事務局) 各家庭でインターネット環境も異なるので、視聴したいときに電話で問い合わせをいただければ案内させていただく。

○実際に議会に足を運んで傍聴すると印象が違って見えた。傍聴者がいると、議員にとっても緊張感が持てるのではないかと思われる。議会報告会にも参加させていただき、参加者は少なかったが、一生懸命説明をする議員の様子をうかがうことができた。ホームページも閲覧し、いろいろと調べてみると、四日市市議会が議会改革の面で評価されていることもわかった。自分自身、市議会モニターをきっかけに市議会のことに興味を持つことができたので、モニターの任期を2年とし、多くの人に市議会に興味を持ってもらいたいという考えはよく理解できる。

○市議会モニターになったことがきっかけで傍聴に行き、議員の活動が良く分かったのが良かったと感じている。

→ 議員) インターネット議会中継、録画配信は都合の良い時間に見ることができ便利だが、議場で傍聴するとまた印象が違うと思う。インターネットで議会中継を見た人に興味を持ってもらい、実際に議場に足を運んでいただけるように議員として努力していきたい。市議会に興味なかった方が地区市民センターの推薦で市議会モニターになったという話があったが、そういった方々にも興味を持ってもらえるようにしていきたい。現在、市議会モニターへの報酬はなく、記念品を渡すのみだが、交通費の支給を検討しても良いのではないかと考えており、皆さんの意見をお聞きしたい。

○若年層の市議会モニターを増やし、市議会に興味を持ってもらうことは良いことだと思うが、カリキュラムを考えると、平日の昼間の時間に高校生が傍聴に来るのは難しいのではないか。また、交通費については不要と考える。

→ 議員) 本会議等は平日の昼間の時間になるが、議会報告会を土日祝日に開催する等の工夫も行っている。

○高齢者にもわかりやすいように、一般質問で使用する資料の文字を大きくしたり、音量を大きくするなどの改善をお願いしたい。

→ 事務局) ご意見を議員に周知し、資料の文字の大きさには配慮していきたい。また、音量については以前にもご意見をいただいております、傍聴席用にスピーカーを増設した。

○傍聴に来てもらえるようにPRをすることが重要と考える。議員としても地元働きかけ、傍聴者を増やす努力をするべきである。交通費については、市議会モニターを引き受けた時点です了承しているため、不要である。また、2年の任期は短いと感じる。市議会モニターを始めて2年目だが、市議会モニターをやって良かったと感じている。

→ 議員) 任期や傍聴についてご意見をいただいたので、広報広聴委員会の中で検討していきたい。